

第49回太陽と緑に親しむ健民祭〈マラソンに挑戦する会2022〉開催要項

金沢中央走ろう会 2022/07/7版

昨年は感染予防のため中止となりましたが、今年は、以下のように〈マラソンに挑戦する会2022〉を開催します。順位やタイムを競いあう大会ではなく、マイペースで完走をめざす会です。今年度より、本会は〈持続可能なマラソン大会〉をめざして行います。

1. 日 時 2022年9月19日(祝・月) 雨天決行
受付 午前6:45~7:30 開会式 7:40
スタート 8:00(100人ずつ、5分おき)
終了 12:00(完走時間は4時間)
2. 主催 石川県走ろう会連絡協議会
共催 石川県・石川県健民運動推進本部
主管 金沢中央走ろう会
3. スタートフィニッシュ会場
西部緑地公園陸上競技場(金沢市袋畠町)
4. コース 陸上競技場を時間差でスタートする。(100人ずつ、5分おき)
競技場を出たあと、**信号を守って横断歩道を渡り**、橋を渡って犀川沿いの自転車道を片道5km(上流4km, 下流1km)の区間を往復。規定の回数を往復したあと、**帰りも信号を守って**陸上競技場に戻ってフィニッシュ。
つまり、**〈往復とも信号を守る〉**ということです。
5. 種 目 4時間以内なら自由 10km(1往復)から30km(3往復)まで設定できます。
その日の体調によって決めてください。
No.カードは受付順とし、距離による部門分けはしません。
6. 定 員 400人程度
7. 完走賞 完走証(記録はHPに後日発表します)、飲料他
8. 参加料 ¥1000 当日の朝、徴収いたします。
9. 申込締切 8月26日(金)または定員400人に達した場合
10. 申し込み内容 **趣旨や注意事項をよく理解された上で申し込んでください。**
①氏名(ヨミガナ 必ず) ②性別(男女) ③年齢(歳)
④郵便番号 ⑤住所 ⑥連絡先電話
11. スタート前に金沢の和太鼓チーム「和太鼓大地」による演奏を披露していただくことになりました。「和太鼓大地」は県内外のイベントでの演奏の他、金沢市の姉妹都市フランスのナンシー市やハワイでの演奏など国際的にも活躍しておられます。
スタートのピストルの合図のあと、競技場周回の折りにも演奏していただき、元気に競技場を出発するという趣向です。お楽しみにしてください。
12. 申し込み先
上記内容を可能な限りメールで。件名を「マラソンに挑戦する会申し込み」としてください。メールできない方はハガキでもけっこうです。

〒921-8011 金沢市入江1-567 金沢中央走ろう会代表 野村泰裕
メール nomuy@gamma.ocn.ne.jp 電話090-2832-8911



開催にあたっての注意事項

連絡・注意事項は金沢中央走ろう会のホームページに掲載します。

必ず見てください。 <https://www.chuo-hashirokai.com/> →

今年は中止となる可能性は少ないと思いますが、万一の場合、参加費の返金作業がたいへんなので、参加費は当日徴収とします。申し込み後、キャンセルする方は後日、必ず振込をお願いします。代走も可能です。

給水は冷水のみで、給水箇所は若宮大橋下のみ。

紙コップの用意はしますが、ゴミ削減のため、紙コップは極力、ムダに使用しない工夫をお願いします。各自が折りたたみ式のコップなどを身につけてくださるとありがたいです。帽子に紙コップをクリップで止めておく方法もあるようです。

水はペットボトルから補給します

給食はありません。必要な人は受付で段ボール箱の中に入れてください。大豆田若宮大橋下までスタッフが運んでおきます。(他の人がうっかり食べても責任は持ちません)

以下は参考資料です。

※〈マラソンに挑戦する会〉は来年40回を迎えます。石川県で最初のフルマラソン大会として誕生して、この会でフルマラソンに初挑戦する方々がたくさんいらっしゃいました。

また、初めて長時間走る方のために、〈至れり尽くせり〉のサービス精神旺盛な運営をしてきました。

しかし、現在は、石川県内に3つのフルマラソン大会があり、この会の所期の目的は十分に果たしていると考え、以下の観点から、「持続可能な大会」としてコンパクトな大会をめざします。

①スタッフの高齢化、固定化

スタッフの高齢化により、長時間の屋外でのボランティアは不適。

常にスタッフとして参加するのではなく、スタッフも兼ねて参加できるようにすることが〈健民祭〉として望ましい。

(改善案)

部門は10、20、30km。当日、自分で決定する。No.は受付順とする。

終了は12時とする。(4時間)

往復とも信号待ちをしてもらうことによって、スタッフが10人減となる。

5分おきにスタートすることによって、ばらけると予想する。

完走時間は後日、HPによって発表。完走記録は自分で記入する。

給食の廃止、給水の簡略で、スタッフ人数減。

②事務局の軽減

参加者への案内、警察や市役所への申請許可、プログラム作成など、時間的な負担が大きく、次の事務局担当への引き継ぎが難しい。

(改善案)

本年度のみ、前年度中止お知らせを発送した参加申込み者のみにハガキ案内をする。

来年からはHPでの発表のみ。

「受付ハガキ」は出す(注意事項の徹底のため)

往復とも信号待ちをすることによって、警察や市役所への申請許可事務が不要となる。

プログラムは作成するが、部門を廃止することによって、簡略化される。

ゼッケン発注も部門で分ける必要がなく、簡略化される。

会費は当日、徴収。欠席の場合、参加費は後日郵便振り込みで納めること。

③ゴミの廃棄など環境問題

給水の紙コップ、給食の廃棄など、環境への負荷が大きい。

(改善案)

給水は若宮大橋下のみで、ペットボトルからの給水とする。紙コップも用意する。

(※ペットボトルの廃棄だけは仕方ない)

給食は廃止。必要な人は受付で段ボールに入れる。スタート後に若宮大橋下まで、車で運んでおく。